

神奈川中央交通は2021年6月 創立100周年を迎えます。

神奈川中央交通株式会社（本社：平塚市、代表者：取締役社長 堀 康紀）は、2021年（令和3年）6月5日に創立100周年を迎えます（前身である相武自動車株が1921年（大正10年）横浜市で設立）。これまで当社をご愛顧賜りましたお客さまや地域の方々をはじめとした多くの皆さまに、改めて感謝申し上げます。

当社ではこれまでの100年への感謝と、これからの100年への想いを込めて、以下のとおり周年記念施策を実施いたしますのでお知らせいたします。

1. 100周年記念コンセプトワードの制定

100年先も、ひとの待つ、その場所へ。

「100年先も」は、100年続いてきた当社だからこそ使える言葉で、次の100年へ向けた決意を表しています。「ひとの待つ」はお客さまや地域社会が望んでいること、時代の変化に柔軟に対応していくことを示し、「その場所へ」はニーズのあるところに自ら向かう姿勢。

これからも、お客さまや地域社会のニーズに応え、新たな価値の創造に挑戦し続けていく当社の姿をこのコンセプトワードに込めました。

2. 100周年記念ロゴの制定

当社100周年記念施策の実施にあたり、100周年記念ロゴを制定いたしました。

数字の「1」は当社がこれまでバス業界の先駆けとしてたくさんのお客さまを運び、豊かな未来をつくってきたことを表しています。これに続く2つの「0」は、車輪とともにヒトやモノが移動する様子を表しており、それらを神奈中バスのカラーである3色で表現しています。また、下部にブランドマークを配することで、より視覚的に「神奈川

中央交通100周年」を認識していただけるようにしました。



3. 制服の一新

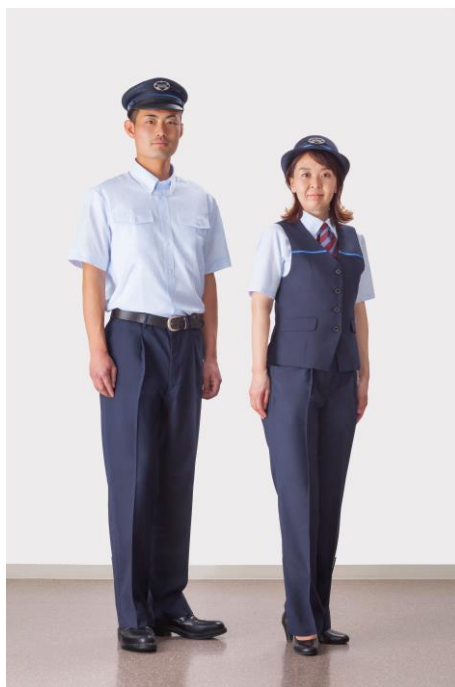
2021年4月1日より、運転職・現業事務職の制服を一新いたします。

新しい制服は、当社ブランドマークのカラーをモチーフにしたブルーのラインを襟元、袖口等にアクセントとして配するとともに、帽章にはブランドマークをあしらひ、「100周年を機に新たなスタートを切る神奈中」をイメージした信頼感のあるスタイル、親しみの持てる爽やかなデザインにしております。

また、運転業務やお客さま対応といった運転職の日常の動きを考慮し、生地の伸縮性向上や軽量化に努め、機能性の高さを重視した制服としました。



運転士制服（冬服）



運転士制服（夏服）



ブランドマークを
帽章にデザイン



襟元・袖口のブルーライン

以上